



カテゴリ: サステナビリティ

## 北信越地方の空港では初となる、新潟空港作業車両に「高純度バイオディーゼル燃料(リーゼル)B100燃料」の導入を開始

JALは、CO2排出量削減への取り組みの一環として、新潟空港配備の空港内作業車両であるトーイングトラクター<sup>(※1)</sup>に高純度バイオディーゼル燃料(リーゼル<sup>(※2)</sup>)濃度100%のB100燃料を、2025年3月12日より使用を開始します。

(※1)空港制限区域内にて航空貨物やお客さまの手荷物の運送用コンテナを牽引する車両

(※2)蒸留精製処理においてエステル成分の純度を99.9%にまで高めた、高品質な軽油代替燃料

「高純度バイオディーゼル燃料(リーゼル)」は廃食用油・植物油を原料とするバイオ燃料のうち、バイオディーゼル燃料の成分である脂肪酸メチルエステル(以下、「FAME」)の精製純度を99.9%という極限まで高純度・高品質化した燃料です。原料となる植物の成長過程において光合成を行うことで二酸化炭素を吸収しているため、カーボンニュートラルの概念で燃焼時の二酸化炭素の排出量はプラスマイナスゼロとなり、軽油と比べて1リットル当たり2.62kgのCO2排出量削減の効果が見込めます。

この取り組みにおいては一般社団法人リーゼル協会<sup>(※3)</sup>の会員である株式会社江口佐五七商店(新潟県長岡市)が家庭や飲食店から出る使用済みの天ぷら油などの廃食油を回収及び「リーゼル」の製造・供給を、新プロ産業株式会社(新潟県新潟市)が給油を担当します。

\*2高純度バイオディーゼル燃料の製造量拡大・普及・利用推進を目指し結成された団体。全国約60社の参加により運営(燃料製造業、建設業、廃棄物処理業、石油流通業等が加盟)

JALは、この取り組みを通じて、持続可能なエネルギー利用によるCO2排出量削減と地産地消による循環型エネルギーの取り組みを推進し、今後も地域や社会と連携して、地域の課題の解決に取り組んでまいります。

- 運用開始日  
2025年3月12日(水)～
- 対象空港  
新潟空港(新潟県新潟市)
- 対象車両  
新潟空港配備 JALトーイングトラクター 3台
- 内容  
高純度バイオディーゼル燃料(リーゼル)  
濃度100%の「B100燃料」をトーイングトラクターに使用

